

予算常任委員会報告

9月13日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託された「令和6年度能勢町一般会計補正予算(第2号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。

「令和6年度能勢町一般会計補正予算(第2号)」は、討論はなく、採決の結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

問 地域留学推進支援業務委託料について地域高2留学の教育コーディネーターが採用に至らなかったのは、会計年度任用職員の業務内容や雇用条件が、報酬に見合わなかったのではないかなと思うが、その経緯を問う。

答 会計年度任用職員として2回募集を行ったが、応募は2名で、適正人材の採用に至らなかった。報酬については、人事院勧告に基づき実施している。来年度から地域手当が加算され職員の給与が上がるので、会計年度任用職員の報酬も上げていくことになると思う。

問 教育コーディネーターと、地域おこし協力隊(里山留学)との関わりについて問う。

答 民間事業者に委託できれば、町、教育委員会、地域おこし協力隊と話し合い連携していきたい。



問 ガバメントクラウド接続サービス利用料の内容与スケジュールを問う。

答 稼働環境や接続の設定、ネットワークの構築、第5次LGWAN回線(自治体の専用回線)の敷設が主な内容である。

今年11月頃から着手して年度内に終える予定となっている。

昨年度、情報提供依頼をかけたところ、現行一者のみ提案があり、そちらで決定している状況である。

問 獣害対策用倉庫の整備工事について、内容と今後の予定を問う。

答 獣害対策用の保管倉庫を、西館の東側キュービクル跡地に移し、新たな倉庫を整備するもの。構造等は、軽量鉄骨で平屋建て、延べ床面積は、34㎡程度の倉庫を建設する。今後の予定は、旧庁舎の解体工事終了の来年1月末に着工し、5月中には完成させたい。その際、倉庫と併せて、ごみ収集員の待機場所を設置する予定である。

問 消防団員出動報酬の増額について問う。

答 近年の実績をもとに、年間270名を予定していたが、8月現在で約370名出動している状況で、約200万円を火災出動の報酬として支払っている。増額については、大きな火災が発生しても対応できるように、200名の出動を見込んでいる。また、年末警戒を1日間で実施していたが、消防団で協議した結果、本年度より2日間実施することになった。以上の手当として合計240万円を計上している。



(令和5年度 能勢町消防団・能勢町分署合同訓練)